

FRENCH FASHION PROGRAM 2026

2026/2/14 Sat. - 3/1 Sun.

明治大学 商学部
特別テーマ海外研修科目
フレンチファッション・プログラム

パリ短期留学でのファッションビジネス授業

- ◇ 期間：2026年2月14日（土）～3月1日（日）14泊16日
- ◇ パリのファッションビジネススクール《モダール インターナショナル学院》 集中講座
- ◇ ラグジュアリーブランドに特化したブランドマネジメント全般の講義
- ◇ 授業はビジュアル中心に**英語**で行われます
- ◇ ブランドビジネスの最先端で活躍中のプロフェッショナルが講師として授業を担当
- ◇ 座学と課外研修の組み合わせ + フリータイムを利用した自由研究

明治大学 商学部
特別テーマ海外研修科目
フレンチファッション・プログラム

- 【費用】 予価 **870,000円** 授業料・教材費・技術費・航空券・ホテル・危機管理
- 【講義内容】 次ページ参照
- 【期間】 2026年2月14日（土）～3月1日（日）14泊16日
- 【参加資格】 高校卒業程度の英語力
ファッションやブランドへの興味・関心のある大学生
- 【研修場所】 フランス パリ市内 * 日本での事前学習3回・事後報告1回
- 【引率】 日本人講師が出発（日本）から同行

3

授業テーマ（パリ）

Day	AM	PM
月	ブランド本社での研修（agnès b.）	終日
火	モード関連展覧会 鑑賞	ラグジュアリーブランドのVMD 講義
水	自由研修	VMD 店舗視察
木	モード関連展覧会 鑑賞	ハイジュエリー 講義
金	ファッションショー実務 講義	ギャラリーディオール 見学
土	ヴェルサイユ宮殿 見学	自由研修
月	フランスの香水産業 講義	香水ミュージアム 見学
火	循環型ファッション現場 見学	ファッション産業のSDGs 講義
水	ブランドの現代美術財団 見学	自由研修
木	ブランディングとは 講義	（終日プレゼンテーション準備）
金	学生プレゼンテーション	研修後 報告会

4

授業内容

《ラグジュアリーブランドのVMD》

VMD（ビジュアルマーチャンダイジング）の基本的な理論学習。ブランド店内・ウインドウ装飾の実例を見学。

《ファッション産業のSDG's》

ブランドが実際に取り組んでいるSDG's 施策を、ブランドの現役CSRディレクターがレクチャー。

《ファッションショー実務》

パリコレ、いわゆるファッションウィークの現状と関連するブランド側の実務を、ハイブランドで担当をしていた講師が解説。

《ハイジュエリー》

高級宝飾ブランドの歴史、PR戦略、作品についての講義と店舗または展覧会の見学

《ブランディング》

ラグジュアリーブランドの定義からはじまり、ブランドの構築方法、歴史をもつ老舗ブランドのブランディング解析、広告コミュニケーション戦略などを実例をあげてレクチャー。

《モード関連展覧会 鑑賞》

ファッションの都パリならではのモード関連の展覧会を鑑賞。

《ブランドの現代美術財団》

応用美術品と評価されるハイブランドの商品が生まれる背景にある、ブランドならではの美意識を表現し、メセナ（文化擁護）活動の一環として運営する美術財団を見学。

《フランスの香水産業》

パリの高級モードの歴史と切り離せないフレグランスについて基礎から学ぶ。科学的な理論と、人間の感性が融合するフレグランス産業についてのレクチャーと同時に、実際の香りを体験して、奥深さを知る。

《循環型ファッション》

フランスで成功している循環型ファッションを推進する団体や、ファッション業界にしかできない社会貢献活動を実行しているグループの拠点を訪問して学習

* 授業内容と時間割は変更になる可能性があります。

5

MOD'ART INTERNATIONAL

モダール インターナショナル学院

- 2002年 パリで設立された高等専門学校 (Grande École)
- ラグジュアリーブランドに特化した教育
- 35%がフランス国外からの留学生
- ファッションビジネス科・デザイン科
- 現役でブランドビジネスに携わる講師陣
- 明治大学提携校 単位互換



<https://modart-paris.com/en/>

35, Quai André Citroën 75015 Paris
Tel. +33 1 58 39 36 60
Métro : Javel (ligne 10)



6

現地授業の例

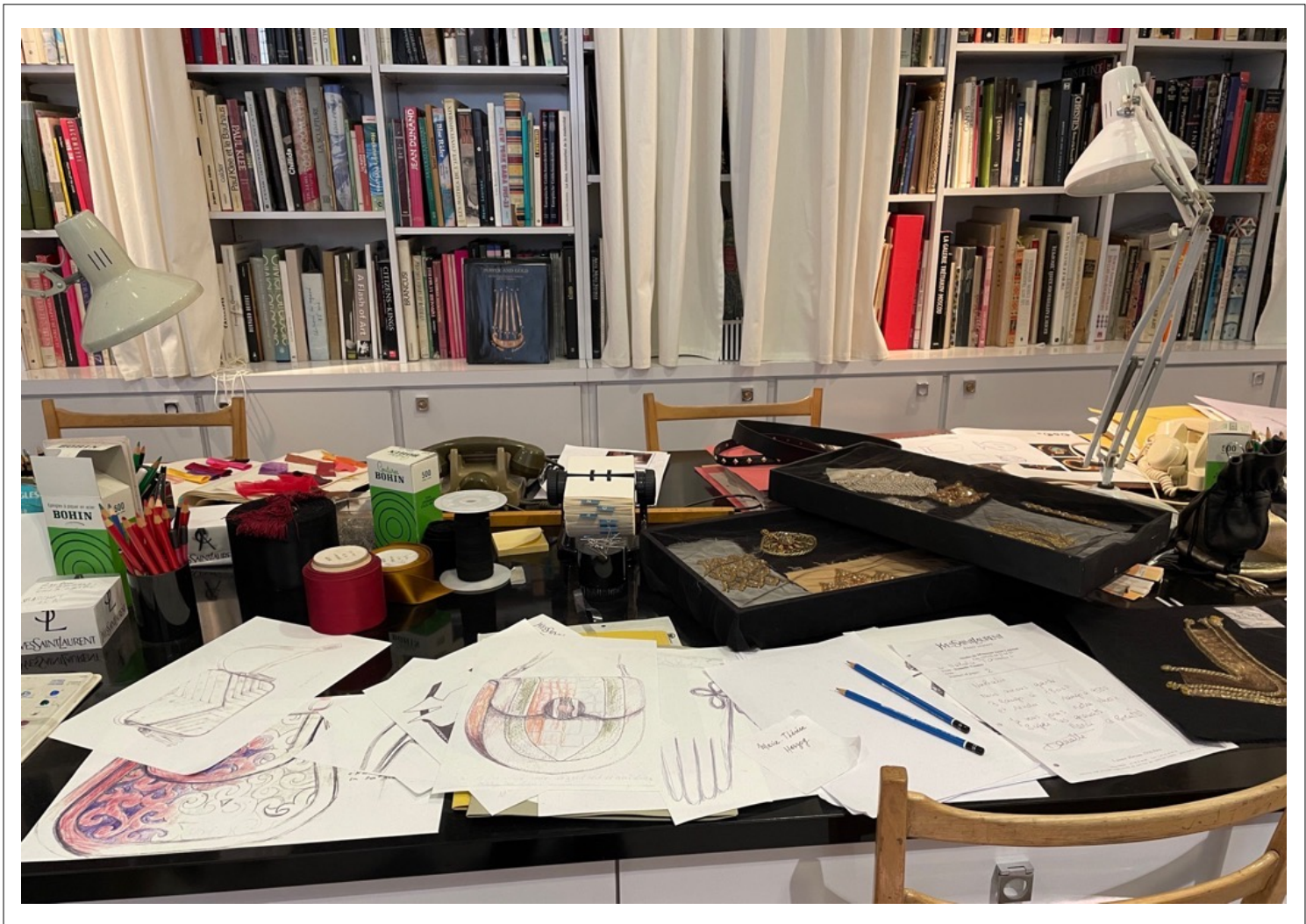
7

















過年度参考

2025年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/KTGG4m1sEHU55F19A>

2024年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/pE4LbDTme4iTcnsi6>

2023年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/ZepSDWYk5QfT2ass6>

2020年2月 写真

<https://photos.app.goo.gl/CNeWuYLotJawD7wVA>

Mod'Art 紹介動画

<https://youtu.be/jJlzQDrU-X0>

2025年2月 〔商学部の現場〕記事

<https://meiji-commerce.jp/abroad/-20252.html>

2024年2月 〔商学部の現場〕記事

<https://meiji-commerce.jp/2024/03/25/-20242.html>

2023年2月 〔商学部の現場〕記事

<https://meiji-commerce.jp/abroad/post-277.html>

参加者の声 [2025-1]

VMDの授業では商品の陳列方法について学んだ次の日に実際に店を回って自分の目で確かめる、ファッションショーの授業では実際にファッションショーの動画を見ながら学ぶ、香水の授業では実際に匂いを嗅ぎながら学ぶなど、実践的な学びを提供していただきました。少しフランス語の癖がある英語を聞き取るのは大変でした。

Z世代の若者間でアニエスベーの認知度を上げる方法についてプレゼンしました。英語での発表なのでカンニングペーパー見ながらの発表になってしまい悔しかったです。

来年度以降参加する方へ。知り合いがいなくて不安に思っている方、大丈夫です！ 私も参加前まで知り合いがおらず、自由時間どうしよう、一人で観光地回るのかな、と不安に思っていたましたが、最終的には参加者の半数以上とお話して、仲良くなった人と楽しく観光することが出来ました。

これまでほとんどファッションをビジネスとして考えたことが無かった為、授業内容の多くが新鮮で楽しかったです。特に、商品の配列形式が多様なこと、ブランドそれぞれの売り方によって形式が変わっていることを学び、実際にブランド店で体感するVMDの授業は、学んだことを自分の目で確かめることが出来て良かったです。

フランス語特有の発音法則（Hや最後の子音を発音しないなど）の影響もありフランスの方が話す言葉がわかりづらいことがあり大変に思いました。どんな方の英語も理解できるようにもっとリスニングを頑張ろうと思いました。また、逆にリスニングは出来ていても上手く自分の考えが英語で言えず後悔した場面もありました。

23

参加者の声 [2025-2]

憧れのパリに初めて行って街並みがとてもきれいで歩いているだけで楽しかった。この研修を通して、今までよりもファッションやそのブランディング、MDなどに興味を持つことができ、これから自分の将来につなげていくために勉強しようという意欲がわいた。

この研修では、各ブランドに対して抱いていた漠然としたイメージが、実はブランド戦略の一環であることや、普段の買い物では気にしないような細かな点にもこだわりがあることを学ぶことができた。そのため、今後消費者として買い物をする際にも、商品以外の部分に目を向けることができ、より一層買い物が楽しみになった。

初めてブランドの「DNAコード」という概念を知ったが、画像と共にたくさんのブランドごとによる例を出して教えてくださり、とても分かりやすく面白い内容だった。今までただ高級そうとは思っていなかったハイブランドの店舗の内装は、ブランドの確固たるコンセプトに基づいて作り込まれていることを学び、ハイブランドに対する興味が高まった。また、座学も面白かったが、翌日に実際に店舗を見学する機会があった点がとても良かった。

百貨店や路面店を歩き回り、かなり体力を要する一日になったが、先生の解説もありとても有意義な機会になった。日本では、ハイブランドの店舗に見学に行くのは敷居が高かったが、授業の一貫で行けて良かったと思う。

オンラインショッピングが普及する中でいかにリアル店舗に意義をもたせるかという話題について以前から興味を持っていたが、リアル店舗では「特別で感動的な体験を提供することが必要」というお話を聞き実際にそれを体験し、とても納得できたため、これからの商学部の学問でこの知見を活かしていきたいと感じた。

24

参加者の声 [2025-3]

ブランドのモチベーションに関する講義は特に興味深かった。今までブランドを、ハイブランド/プチプラというような価格や店舗の立地による区分で見えていたが、それぞれのブランドがどのテリトリーをモチベーションとしているかということを知り、「本当のブランドの価値」を少し見いだせたような感覚になり、とても面白かった。

リアルな課題についてブランド戦略の視点から取り組む機会は今までなく、決して簡単なものではなかったが、実践的なグループワークはとても有意義で、社会人になった後でも活用することができる大きな経験になった。特に楽しかったのは、グループのみんなでアイデア出しをした時間であった。皆一度出るとアイデアが止まらず、カオスな状況になってしまった瞬間もあったが、そこで同じ指向・興味関心を持った人と真剣に取り組むグループワークの楽しさに気づくこともできた。講義内容のおさらいにもなり、とても有意義なものであった。

本プログラムに参加しようと考えた理由は極めて単純で、「エミリーパリへ行く」を見てフランスのファッションビジネスについて興味を抱いたからだ。フランスには以前からずっと行ってみたいと思っていたし、さらにそこでビジネスについて学べるのなら、一石二鳥と考え、ほぼノリと勢いで参加を決意。結果、全く後悔はありません。一言で言うと、自身の世界観が変わりました。百聞一見にしかずという諺があるように、実際に思い切って外国に足を踏み入れてみないとわからないこと、感じることでないことはたくさんあるが、パリの人は皆観光客に対してウェルカムじゃない、英語で接客してくれない、汚い、スリが多いなど多くの情報や噂が世に出回っていますが、感じ方は人それぞれです。自分の足で実際に行ってみるまではなにも言い切れないのではないのでしょうか。

25

参加者の声 [2025-4]

このプログラムの1番の魅力が、ファッションを多角的に観察できる課外活動の充実度である。実店舗訪問やジュエリーの展示会は、授業の前後の学びと関連しており、知識を深めるのにとても効果的だった。

印象に残っているのは「ファッショングリーンハブ」である。SDGsに関連するゼミに所属していたため、ソーシャルビジネスを実現している企業の話の詳細を聞いたことは、非常に貴重な経験だった。スーパーなどでもフェアトレード商品の取り扱いが多く、日本よりも消費者の社会貢献意識が高い国だという印象はあったが、そうした取り組みが公的機関やパリ市庁などの支持を受けて成り立っていることを改めて認識した。

なぜラグジュアリーブランドが人々を魅了するのか、ブランドとしての価値を高める試みやコミュニケーション方法など、就職後にも役立つ内容であった。海外企業の話を通じて貴重な機会にもなる。卒業間際のタイミングでギリギリいけて本当に良かった。

アニエスベーをはじめとして、環境問題に配慮した会社では、どのように服がデザインされ、作られているのか、細かい過程まで丁寧に教えて下さり、驚いたことが多々ありました。その中でも特に、印象的だったのは、現在のような機械や技術が発展している世界でも、服のデザインや、繊細な装飾、型のラインや大きさなど、うまく先端技術を取り入れながらも、人の手作業がほとんどであり、たくさんの方の地道な努力の積み重ねであるということです。課外活動を通して、フランスの過去から今も続いているファッションに対する熱量を改めて実感することができました。

26

参加者の声 [2025-5]

最も為になった課外活動は、Fashion Green Hubの見学です。私は元々、ファッション産業のゴミ問題に興味があり、デザイン性や独自のブランドイメージを維持しつつもそのような環境問題に取り組んでいくビジネスについて深く知りたいと考えていたため、Fashion Green Hubでの時間はとても有意義でした。特に印象に残っているのは、実際に服を製作している現場での日本人のチーフの方からのお話で、ブランドが服を作る際に余った大量の布を使ってパッチワークなどの服を製作していること、性被害や暴力など様々な困難を抱えた女性を積極的に雇用していること、そのような取り組みに理解を持つ人が顧客層に多いことなどを知り、勉強になりました。また、チーフの方が温かく、私たち学生が質問しやすい雰囲気を作ってくださったのも有り難かったです。

課外活動では、個人旅行なら探し出せないような美術館に行けてとても良かったです。美術館というと、絵や彫刻のイメージしかなかったのですが、芸術性を感じたり、日常的なものまで題材にしたりしている帽子や、ひとつひとつが繊細で息をのむように美しいドレスなどの洋服をたくさん見ることができてとても刺激を受けました。また、展示方法もこだわっているものばかりで、さまざまな形でそのブランドのイメージを維持できるような方法でかつ、展示物が一番引き立つような方法でとても素晴らしいかったです。また、目からだけでなく耳からの情報からも展示に引き込まれるものがあり素晴らしいかったです。

他学部履修として申し込みをしたことに少し不安がありました。しかし、実際に研修が始まってみると、学部関係なく他愛のない話をしたり、パリでの慣れない生活の相談をしたりと自然と仲良くなれました。興味があるなら、思い切って参加してみるのも良いかもしれません。本場のパリでしか、大学生の感性でしか、フレンチファッションプログラムでしか、学べないことがたくさん待っていると思います。

27

参加者の声 [2025-6]

VMDの授業が特に印象的でした。授業の次の日に実際のブランドのショップを見学することで、授業で聞いた知識を忘れないうちに自分の中に取り組みことができました。また、普段何気なく持っているブランドのそれぞれのイメージは徹底的な戦略や隠れた工夫によるものであると理解できました

英語での授業については、今までは学校教育における「用意された綺麗な英語」にしか触れておらず、フランス語の訛りがある「生きた英語」に触れるのは初めてのことで新鮮でした。それゆえによく聞き取ることができず悔しい思いをしました。この悔しさをバネに、机に向かうだけの学習ではなく外に目を向けた学習もしようと思いました。

実際にフランスで生活してみると、確かに自己責任の国ではありましたが、冷たい人が多いということはありませんでした。レストランでメニューに分からないところがあれば嫌な顔をせず教えてくれたし、“Where are you from?”と気さくに話しかけてくださる方もいました。言葉が通じないから、よその国の人だからというだけで必要以上に身構える必要はないなと思いました。

9時-9時45分から授業や課外活動があることが多かったので、朝は7時に起きてパン屋さん巡りをしていました。終わる時間は日によって違いますが、事前にわかっているのでそれに合わせて美術館などの予約をしていました。

英語にあまり自信がないという方は、事前に質問を考えて授業を受けるのも良いと思った。町では基本的に英語が通じるし、レストランやカフェでも店員の方がよく助けてくれるので心配はいらない

28

参加者の声 [2023/2024]

- ◎ 英語が苦手に参加前は不安だった。しかし、憧れのパリで、日本では経験できない環境のもと、ラグジュアリーファッションをより深く学べ、充実した貴重な体験ができた。美しい街並みの中で夢のような二週間だった。
- ◎ 他学部から一人で申し込んだので出発前は不安だったが、事前学習会や現地の授業を通して気の合うたくさんの友人ができ、充実した研修を過ごせた。一人で飛び込んでみて良かった。理系学部からの参加者も、最初に抱えていた不安は全く問題なく解消できたと言っていた。
- ◎ 留学が初めての人に勧めたい。現地でも旅行代理店の方や同行してくださってる先生がいるので、万が一のことがあっても対応してもらえる。
- ◎ 実際にブランドで働いているフランス人に自分が疑問に思っていたアパレル産業のことをたくさん質問することができ、更なる関心や興味を持った。
- ◎ 留学の事前学習ではファッション史や主要ブランド概論の講義があるので、受講すると研修先での助けになる。
- ◎ 各ブランドのDNA Code について明確に言語化された授業が興味深かった。今まで何気なく感じていた「そのブランドらしさ」の要因を学んだ後に商品を見て、ぼんやりと感覚的に感じていたものをきちんと理解できたのは気持ちがよかった。

29

参加者の声 [2023/2024]

- ◎ 自由行動では、ルーブル美術館やエッフェル塔、セーヌ川などの観光名所に行くことができたし、日本で我慢していたスイーツとパンも飽きるくらいたくさん食べたし、本屋で雑誌を買うこと、夜のカフェに行くことなどパリでやりたかったことも叶えて夢のような17日間だった。
- ◎ 語学留学ではなく、英語を手段としてファッションを学ぶプログラムに参加できてよかった。フランスは聞いていたとおり芸術の国で、地下鉄の駅で楽器を演奏している人がいたり、オペラ座の前では合唱をしている団体がいたり、スーパーマーケットにはストリートピアノがあって誰でもいつでも弾けるようになっていたり、美術館で彫刻の前に座ってデッサンしている人がいたり、本当に芸術が文化の根底にあって素敵だと思った。
- ◎ この研修に参加したくて、明治大学商学部を志望した。将来ラグジュアリーファッション業界で仕事をしたいと思っている自分にとっては最高のプログラムだった。また、留学は授業だけではなく、日常生活にも日本にはない学びや発見があり、刺激的だった。
- ◎ 今回のプログラムで特に興味を持ったのは、ファッション・グリーン・ハブを訪問したこと。ここでは、数ある産業の中で2番目に環境に悪影響を与えているファッション産業が、いかに環境に良い商品を作れるかを研究している。担当の方が様々な製品を見せてくれた中でも面白かったのがデニムで作られたバッグだった。もともとのジーンズの縫い目が生かされているデザインで、「製品を生まれ変わらせる際に、新しい糸や布、部品を使わないことが目標だけれど、今は達成できていない。今もずっと研究している」というコメントに感心した。
- ◎ 日本にいても、スマホやインターネットで情報は得られるが、実際にファッションの本場パリに足を運ぶことでしか気づけないこと、吸収できないことがたくさんあると実感した。

30

渡航・宿泊 日程

2026年

日数	月 日 (曜)	都 市 名	現地時間	交通機関	摘 要	食 事
1	2月14日(土)	東京(羽田)発 パリ着	08:25 14:55	JL045 専用車	日本航空直行便にてパリへ パリ到着後、専用バスにてパリホテルへ ＜機内泊＞	× 機 機
2	2月15日(日)	パリ			終日自由行動	× × ×
3 ／ 14	2月16日(月) ／ 2月27日(金)	パリ			『フレンチファッション・プログラム』 ＜パリ ホテル泊＞	× × ×
15	2月28日(土)	ホテルチェックアウト パリホテル発 パリ(CDG)発	午 前 13:00 17:15	専用車 JL046	ホテルチェックアウト後、自由行動 ホテル再集合後、専用車にて空港へ 日本航空直行便にて帰国の途へ ＜機内泊＞	× × 機
16	3月1日(日)	東京(羽田)着	14:45		羽田空港到着、通関後解散	機 × ×
JL：日本航空 CDG：パリシャルル・ド・ゴール空港						

31

渡航・宿泊 情報

旅行期間：2026年2月14日(土)～3月1日(日) 14泊16日

人数： 30名 ※最少催行人数20名

費用： 合計予価 **870,000円**

宿泊先： Aparthotel Adagio Paris Centre Tour Eiffel
キッチン付きのアパートメントホテル 2～3名一室 一人部屋希望は別料金

上記費用(*1)に含まれるもの

- 授業料：パリ・モダールインターナショナル学院での2週間の授業料
(講師、教材、展覧会、課外学習費を含む)
- 渡航費： 航空運賃(エコノミークラス)・パリ空港と宿泊ホテル間の送迎
- 宿泊費 (2～3名1室利用)
- 往復および現地での引率教員同行・危機管理費(サポートデスク24h対応等)

費用(*2)内訳

- 空港施設使用料 ■ 国際観光旅客税 ■ フランス入出国税 ■ 航空保険料 ■ 燃油特別付加運賃

32

前払い費用に含まれないもの

- 任意の海外旅行傷害保険代
(明大生は別途案内)
- 通学交通費 (地下鉄・バス等)
※ ホテルから学校へは徒歩通学
- 食事代他、個人的な費用

(通学交通費参考)

交通系ICカード 1週間乗り放題パス "[Pass Navigo Découverte](#)"

31,6€ × 2 weeks = 63,2€ × @¥170/€
≒ 10,000 JPY

Aparthotel Adagio Paris Centre Tour Eiffel

所在地

14 rue du Théâtre, 75015 PARIS
TEL : 33 (0)1 45 71 88 88

アクセス

学校まで約徒歩 10 分
メトロ⑩号線 Charles Michels 駅 徒歩約 5 分
メトロ⑥⑩番線 Bir-Hakeim 駅 徒歩約 10 分

周辺情報

ホテルのすぐ近くに新しくショッピングモールができましたので、生活に便利な場所にあります。
エッフェル塔まで徒歩約 20 分です。

室内の設備について

Wi-Fi、簡易キッチン、電子レンジ、エアコン、バスタブ、ドライヤーなど

ホテル内共有設備について

コインランドリー、ジム、プール

